

和歌山県串本町		●活動名 西向小・中コミュニティスクール				●関係する学校名 串本町立西向小学校 串本町立西向中学校				
協働活動開始年度	平成25年度	関係学校数	2校	のべ学級数	10学級	のべ児童・生徒数	79人	体制図 		
活動区分	—	地域課題解決学習		地域人材育成						
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人		地域学校協働活動推進員等の数 —		配置人数 —					
学校運営協議会	指定・設置日 平成29年5月1日設置		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無				
参考URL	—									
●連絡先	串本町立西向小学校				☎ 0735-72-0137					

●活動の概要・経緯

平成25年度に「西向小・中共育コミュニティ」として運営委員(代表区長、公民館支館長、老人会、青年会代表、教育委員、地域有識者、各育友会長等)15名で組織を立ち上げ、活動を開始する。15名の運営委員を3部会(家庭共育・地域共育・学校共育)に分ける。活動内容は年によって変わるが、概ね以下に示す通りである。

「家庭共育部会」…お弁当作り教室 「地域共育部会」…クリーン作戦 「学校共育部会」…避難所巡り・ベンチ作り

平成29年度からは「西向小・中コミュニティスクール」と改称したが、「学校、家庭、地域の教育力について協議したり活動したりすることを通して、それぞれの役割を見直し、共に連携協力しながら児童生徒の健全な成長を支えていく。」という目的のために活動を継続する。改称に伴い運営委員を学校運営協議会委員とし平成30年度は13名で組織する。活動内容については、基本的には今までの活動を継承し、地域に根ざした活動を目指している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

平成30年度の活動として、学校運営協議会2回と各部会に分かれての活動を行う。

学校運営協議会…5月・3月

「家庭共育部会」…お弁当作り教室(34名参加)

「地域共育部会」…クリーン作戦(地域住民81名参加)

「学校共育部会」…ベンチ作り教室(35名参加) 避難所巡り(地域住民67名参加)

※クリーン作戦と避難所巡りについては、授業の一環として課業日に実施している。

【実施に当たっての工夫】

取組を進める上で気を付けたいこととして、以下の7点を合言葉として活動を続けている。

- ①欲張らない
- ②長く続ける
- ③少しずつ右肩上がり
- ④負担にならない
- ⑤楽しくできる
- ⑥知り合いを増やす、友達(?)の輪を増やす
- ⑦評価ができるように(次につなげ発展させていくために)

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

共育コミュニティとして活動を始めてから6年目を迎え、取組への参加者が固定化されてきている傾向があり、参加者拡大に向けて広報等の方策を考えなければならないという課題はあるものの、継続した取組を行うことで地域の行事として定着してきているという大きな成果も見られる。

その成果の表れとして、

- ①クリーン作戦に対して…悪天候のため中止にした年があったが、地域住民より「学校も行事等で忙しいと思うけれど、何とか実施できる日程を考えてもらえないだろうか。」という声が寄せられた。
- ②避難所巡りを通して…意識の向上や各地区の自主防災組織の活性化の一助となっている。
- ③平成28年度より各地区から活動に対する協賛金を頂けるようになった。等が挙げられる。

●その他

地域の方々の指導のもと、ポンカン学習やひじき学習、料理教室等を実施。ひじき学習のひじきは、子供たちの手で“刈る”→“干す”→“ゆでる”→“干す”→“商品化する”の作業工程を経たもので、ハンバーグやサラダなどの料理を作るまでに様々なことを学んだ。



地域の皆さんと共に清掃活動に



地域の方々に教えてもらって